



出前講座について

在宅医療センターの取り組み課題の一つに「在宅医療が推進できるよう市民への啓発活動」があります。

- ・在宅医療について
- ・かかりつけ医を持つこと
- ・ACP(人生会議)について など

市民の方に医療の仕組みや病院の役割、自分らしく暮らせるには、といった内容もお話ししています。

地域の町内会や老人会、高齢者施設、サークル活動の仲間など少人数でもお話しさせていただきます。

必要ならどこでも出かけますので、まわりの方にも声掛けをして頂ければと思います。(無料です)

申込方法・用紙は医師会在宅医療支援センターホームページをご覧ください。電話でも可能です。

認知症カフェとは



先月号の湘南慶育病院の記事にあった認知症カフェですが、藤沢市では「認知症になっても、住み慣れた地域で、安心して暮らせるまち」を目指し、地域の中で温かく見守っていただけるような地域づくりを行っています。

認知症カフェとは、認知症の人やその家族が、地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う場です。

藤沢市内の各地で、地域団体等が主体となり、認知症カフェや交流会・家族会が開催されています。市内には14か所の認知症カフェがあります。2023年には藤沢駅北口の「スターバックス コーヒー ルミネ藤沢店」でも始まりました。

認知症カフェは絶望から希望に繋がる場所です。

新たな出会いや地域とのつながりの場ですので、身近で悩んでいる方、困っている方にご紹介下さい。

【詳しくは市のホームページを参照して下さい。】

市内で開催されている認知症カフェマップ



村田会湘南大庭病院

地域包括ケア病棟

当院は2020年に開院した地域包括ケア病棟と療養病棟の2つの病棟をもつ91床の病院です。

地域包括ケア病棟の入院元割合は自宅6割、介護施設1割、急性期病院3割程度です。自宅や施設からは急性増悪による緊急入院が多く、その他にはリハビリを目的とした予定入院があります。急性期病院からの転院患者さんにはリハビリを行い在宅復帰に向けた退院支援を行います。

2023年度の平均在院日数は32日、在宅復帰率は79%です。在宅復帰の内、自宅が8.5割、介護施設が1.5割程度です。

入院患者さんへの在宅復帰支援だけではなく、患者さんがより長く在宅生活を続けられるように在宅支援にも力を入れております。例えば、短期間の予定入院の方でも検査とリハビリを行い、健康状態の確認や日常動作の指導などを行います。在宅患者さんや退院患者さんに栄養指導を行ったり、在宅生活の継続に不安がある方には医療介護サービスの相談に対応します。また訪問診療の患者さんの増加に伴い、4月から訪問診療の枠を拡大し、24時間対応の医師の体制も強化しました。

当院は法人内の関連事業所に老健、有料老人ホーム、通所リハビリ、訪問リハビリ、訪問看護、通所介護、居宅介護支援などの多くの在宅サービスがあることも特徴の一つです。在宅生活でお困りのことがあれば医療相談室にご連絡ください。

今後ますます地域の医療・介護事業所の皆さまとの連携を深め、地域の患者さんの在宅生活を支えていきたいと思ひます。



次号で2023年度の在宅医療支援センター活動報告をいたします。